



令和元年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年6月10日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 吉田 淳一

TEL 086-440-0860

四半期報告書提出予定日 令和元年6月12日

配当支払開始予定日

令和元年7月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和元年10月期第2四半期の連結業績(平成30年11月1日～平成31年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年10月期第2四半期	14,788	16.8	1,301	8.1	1,263	14.7	867	14.5
30年10月期第2四半期	12,658	9.4	1,415	7.7	1,481	4.9	1,014	6.0

(注)包括利益 元年10月期第2四半期 747百万円 (10.5%) 30年10月期第2四半期 834百万円 (35.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年10月期第2四半期	59.97	
30年10月期第2四半期	70.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
元年10月期第2四半期	32,222	21,629	67.1
30年10月期	31,789	21,114	66.4

(参考)自己資本 元年10月期第2四半期 21,627百万円 30年10月期 21,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年10月期		16.00		16.00	32.00
元年10月期		16.00			
元年10月期(予想)				16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和元年10月期の連結業績予想(平成30年11月1日～令和元年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	9.6	2,800	4.2	2,900	4.3	2,000	6.1	138.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

元年10月期2Q	14,897,600 株	30年10月期	14,897,600 株
元年10月期2Q	431,013 株	30年10月期	430,980 株
元年10月期2Q	14,466,608 株	30年10月期2Q	14,466,665 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの輸出や生産の一部に弱さもみられ、また通商問題や不透明な国際情勢等に起因する海外の経済の腰折れ懸念が続くなど、不安定な経営環境にありました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「果敢に挑戦、新たな躍動」を基本方針とする中期経営計画(DH56)の内容を踏襲し、各種施策に取り組んでおります。

その結果、売上高147億88百万円(前年同四半期比16.8%増)、営業利益13億1百万円(前年同四半期比8.1%減)、経常利益12億63百万円(前年同四半期比14.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益8億67百万円(前年同四半期比14.5%減)となりました。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、粘着テープ用基材及び海外向けラミネートクロスは順調でしたが、人工芝関連(原糸)などが低調でした。収益面では、足元の原料価格下落に伴う在庫評価引き下げが減益要因となりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、フレキシブルコンテナバッグが低調でしたが足元では回復基調にあります。インドネシア国内販売に注力し、収益底上げを図っております。

中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、米中通商問題を勘案し生産の一部を本社に移管したため減収となりました。

国内子会社「日本ファブワールド株式会社」はおおむね順調でしたが、「東洋平成ポリマー株式会社」は原料価格高騰の影響が残る結果となりました。

その結果、売上高118億38百万円(前年同四半期比23.8%増)、営業利益9億32百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器は、国内は紙・ラベル、軟包装材料及び光学材料向けが順調でしたが、海外は市場拡大の鈍化から東南アジア諸国の軟包装材料及び中国の工業系が共に低調でした。

押出関連機器は、食品容器用・高機能フィルム用スクリーンチェンジャー及び石化メーカー向け大型スクリーンチェンジャーが好調でした。

リサイクル関連機器は、社内リサイクルの増強を目的とした造粒装置や既存設備の保全部品等が堅調でした。

なお、海外展示会への積極的な出展がコスト要因となりました。

その結果、売上高29億49百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業利益3億69百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は322億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億33百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は191億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億61百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が5億60百万円増加した一方、現金及び預金が10億88百万円減少したこと等によります。

固定資産は130億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億95百万円の増加となりました。これは工場等用地を取得したことによる増加及び円高により在外子会社の固定資産の円換算額が減少したこと等によります。

負債の部では流動負債は91億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億46百万円の増加となりました。これは短期借入金が増加したこと等によります。

固定負債は14億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億27百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によります。

純資産の部は216億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億14百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は67.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月10日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,407,589	4,318,800
受取手形及び売掛金	7,628,202	8,188,410
商品及び製品	2,104,387	2,156,761
仕掛品	2,642,448	2,807,206
原材料及び貯蔵品	1,164,619	1,087,146
その他	576,817	634,997
貸倒引当金	△1,980	△32,728
流動資産合計	19,522,084	19,160,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,272,486	2,214,742
機械装置及び運搬具(純額)	2,798,890	2,719,425
工具、器具及び備品(純額)	298,058	291,528
土地	3,262,946	4,174,144
建設仮勘定	160,824	204,881
有形固定資産合計	8,793,206	9,604,722
無形固定資産		
のれん	569,096	497,864
その他	494,006	523,805
無形固定資産合計	1,063,102	1,021,670
投資その他の資産		
保険積立金	1,298,769	1,340,340
その他	1,112,167	1,095,691
貸倒引当金	△136	△136
投資その他の資産合計	2,410,800	2,435,895
固定資産合計	12,267,109	13,062,288
資産合計	31,789,194	32,222,883

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成31年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969,234	1,677,270
電子記録債務	1,896,670	1,915,147
短期借入金	2,211,710	2,644,218
未払法人税等	492,879	448,751
賞与引当金	566,824	577,176
製品保証引当金	58,387	59,832
その他	1,689,230	1,808,921
流動負債合計	8,884,938	9,131,318
固定負債		
長期借入金	645,772	248,354
退職給付に係る負債	694,805	756,376
その他	448,784	457,595
固定負債合計	1,789,362	1,462,325
負債合計	10,674,300	10,593,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,469,816	1,469,816
利益剰余金	17,966,628	18,601,490
自己株式	△473,903	△473,960
株主資本合計	20,740,926	21,375,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,788	8,648
繰延ヘッジ損益	△861	970
為替換算調整勘定	226,920	153,655
退職給付に係る調整累計額	122,696	88,812
その他の包括利益累計額合計	372,543	252,086
非支配株主持分	1,423	1,420
純資産合計	21,114,894	21,629,239
負債純資産合計	31,789,194	32,222,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年11月1日 至平成31年4月30日)
売上高	12,658,032	14,788,771
売上原価	9,024,347	10,706,665
売上総利益	3,633,684	4,082,105
販売費及び一般管理費	2,218,131	2,780,659
営業利益	1,415,553	1,301,446
営業外収益		
受取利息	3,384	2,566
受取配当金	598	668
受取保険金	45,803	44,514
為替差益	29,812	—
その他	25,456	21,602
営業外収益合計	105,055	69,352
営業外費用		
支払利息	12,273	17,767
売上割引	18,773	20,053
為替差損	—	48,867
その他	8,294	20,387
営業外費用合計	39,340	107,076
経常利益	1,481,268	1,263,722
特別利益		
固定資産売却益	6,505	—
特別利益合計	6,505	—
税金等調整前四半期純利益	1,487,774	1,263,722
法人税等	473,558	396,092
四半期純利益	1,014,215	867,630
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,014,155	867,601

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年11月1日 至 平成31年4月30日)
四半期純利益	1,014,215	867,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,760	△15,140
繰延ヘッジ損益	△2,749	1,831
為替換算調整勘定	△120,318	△73,297
退職給付に係る調整額	△52,514	△33,883
その他の包括利益合計	△179,341	△120,489
四半期包括利益	834,873	747,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	834,890	747,145
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年11月1日 至 平成31年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,487,774	1,263,722
減価償却費	475,643	581,878
のれん償却額	19,340	64,331
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52	30,748
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△42,665	22,436
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,180	—
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	—	15,000
受取利息及び受取配当金	△3,982	△3,235
支払利息	12,273	17,767
売上債権の増減額 (△は増加)	△720,972	△583,929
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△279,066	△181,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	124,487	△224,537
その他	△64,290	162,154
小計	1,009,773	1,164,485
利息及び配当金の受取額	3,984	3,355
利息の支払額	△11,336	△19,981
法人税等の支払額	△304,383	△413,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	698,038	734,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	△1,445,179	—
有形固定資産の取得による支出	△330,407	△1,481,852
有形固定資産の売却による収入	28,975	4,793
保険積立金の増減額 (△は増加)	△23,010	△41,571
その他	△40,602	△131,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,810,225	△1,149,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	42,937	307,721
長期借入金の返済による支出	△118,761	△253,259
配当金の支払額	△245,937	△232,844
その他	△187	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,948	△178,438
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,279	7,193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,443,415	△586,928
現金及び現金同等物の期首残高	6,317,200	4,167,769
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,873,785	3,580,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,566,778	3,091,253	12,658,032	—	12,658,032
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	95,127	95,127	△95,127	—
計	9,566,778	3,186,381	12,753,159	△95,127	12,658,032
セグメント利益	996,044	419,509	1,415,553	—	1,415,553

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年11月1日至平成31年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	11,838,914	2,949,857	14,788,771	—	14,788,771
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	28,096	28,096	△28,096	—
計	11,838,914	2,977,954	14,816,868	△28,096	14,788,771
セグメント利益	932,006	369,439	1,301,446	—	1,301,446

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。